

入札の心得

- 1 同一事項の入札は、3回までとする。この場合、初回の入札参加者に限り2回目以降の入札に参加できる。
- 2 入札書は、書換え、引換え又は撤回はできない。
- 3 落札となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、落札決定を保留した上で、別途指定する日時及び場所において、当該入札をした者にくじを引かせて落札者を決定する。
- 4 次の場合の入札は、無効入札とする。
 - (1) 地方自治法施行令第167条の4第1項又は第2項の規定する者のした入札
 - (2) 地方自治法施行令第167条の11第2項の規定により定めた資格を有しない者のした入札（無資格入札）
 - (3) 所定の日時までに入札保証金を納付しない者のした入札（免除した場合を除く）
 - (4) 入札書記載の価格、氏名その他の事項を確認できない入札
 - (5) 入札書記載の価格を加除訂正した入札及び記名押印のない入札
 - (6) 同一の入札者又はその代理人が、同一事項に2通以上の入札をした入札
 - (7) 談合その他の不正の行為があったと認められる入札
 - (8) その他入札に関する条件に違反した入札
- 5 入札参加者が連合し、不穏な行動をなす等、適正な入札ができないと認められる場合は、入札を延期し、又は中止することがある。
- 6 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。
 - (1) 入札参加者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の入札参加者と入札価格又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に入札価格を定めなければならない。
 - (2) 入札参加者は、落札者の決定前に、他の入札参加者に対して入札価格を意図的に開示してはならない。